

吉田病院外来ガイド

消化器内科外来特集

横田 欽一先生に消化器内科についてのお話を伺いました

「胃が弱い」と「慢性胃炎」との違いについて

胃の痛み、もたれ、膨満感、早期膨満感（すぐにお腹がいっぱいになる）を繰り返す状態は、従来「慢性胃炎」と呼ばれてきました。一方、胃に炎症が持続している（化膿している）という意味の慢性胃炎は、ピロリ菌の感染によって起こります。ピロリ菌は子供の頃、通常5歳までに主に親から子へ経口感染します。感染者は一般的に無症状です。子供の頃からピロリ菌がいるために慣れっこになっているのです。このように、症状病名としての「慢性胃炎」と、ピロリ菌感染による「慢性胃炎」は別の疾患です。最近では前者を「機能性胃腸症」、後者を「慢性胃炎」と呼んで区別しています。

「機能性胃腸症」について

安倍元総理が辞任するきっかけになった疾患で、症状にはストレスが大きく影響します。ピロリ菌感染とは関係ないので除菌しても症状は良くなりません。症状は胃酸過多や胃腸の運動障害によって悪化するため、強力な胃酸分泌抑制剤や消化管運動改善剤が使われます。

「慢性胃炎」について

慢性胃炎は胃潰瘍・十二指腸潰瘍の最大の原因であり、ピロリ菌を除菌すると潰瘍は再発しなくなります。潰瘍歴のある方はピロリ菌の除菌治療をお勧めします。一方潰瘍歴がない場合は除菌治療の保険適応がありません。最近ではピロリ菌を抑制する明治のヨーグルト LG21 の摂取が勧められています。また慢性胃炎のある方はない方より胃がんになりやすいため定期的な胃がん検診が必要です。

横田 欽一 健康相談センター長 旭川医科大学 医学部・卒 医学博士

担当科：一般内科、消化器内科、健康相談センター

日本消化器内視鏡学会指導医、日本消化器病学会専門医、日本内科学会認定内科医、

日本医師会認定産業医、日本消化器病学会北海道地方会評議員、

日本消化器病学会評議員、日本消化器内視鏡学会北海道地方会評議員



広報誌
第22号



吉田病院の理念

医療の主人公は患者さま、生活者のみなさまです。わたくしたちは、

- 一、みなさまにわかりやすい説明と必要な情報を提供し、同意に基づく医療を進めます。
- 一、みなさまの人格、プライバシーを尊重します。
- 一、みなさまにまごころをこめて、親切に接します。
- 一、みなさまに必要な医療を地域と連携して提供します。
- 一、みなさまにより良い医療を提供できるよう、自らを磨きます。
- 一、みなさまの健康増進のために、全力を尽くします。

横田先生に聞く 要注意！！ 消化器疾患Q&A

Q.1 横田先生が特に注意してほしい、と思う消化器疾患を教えてください

A. 1 「痛み止め」の服用による、
胃潰瘍、十二指腸潰瘍、小腸大腸腸炎、直腸潰瘍等の発症です



Q.2 それら疾患の、詳しい原因や経路等について教えてください

A. 2 痛み止め（消炎鎮痛剤）は頭痛や腰痛など種々の慢性の疼痛性疾患ではとても有用な薬剤です。しかし消炎鎮痛剤の使い過ぎは胃潰瘍などの思わぬ消化管障害を誘発することがあるので注意が必要です。経口薬で起きることが多いですが、座薬や湿布でも量が多くなると原因になることがあります。痛みを緩和する目的で消炎鎮痛剤を使用することは正しいことですが、痛みは改善しているのに習慣的に使用したり、依存的に使用することは避けなければなりません。頭痛の中には薬剤が切れると頭痛として感じてしまう消炎鎮痛剤依存性頭痛も多いことが知られています。



Q.3 具体的には、どのような症状が見られますか？

A. 3 消炎鎮痛剤による胃潰瘍は出血性胃潰瘍として発症します。吐血や下血を起こします。一般に上腹部痛を伴いますが、高齢者では痛み止めの効果で腹痛を生じない突然の吐血で発症することがあります。小腸大腸炎では腹痛や下痢、下血を起こします。直腸潰瘍は座薬によって発生し、急性出血性直腸潰瘍の臨床像をとります。



Q.4 では、予防対策や早期発見・早期治療のための検査や治療法にはどのようなものがありますか？

A. 4 予防対策は、「必要のない時は使わない」のが重要です。関節リウマチなど、消炎鎮痛剤の長期連用が必要な場合は、消炎鎮痛剤の中でも消化管障害をおこしづらいものが選ばれて処方されます。また、胃潰瘍発生の予防効果のある胃の薬が併用処方されます。消化管障害のうち頻度が高いのは胃潰瘍ですので、定期的な胃内視鏡検査は必須です。消炎鎮痛剤による胃潰瘍、小腸大腸腸炎、直腸潰瘍は一般に消化管出血で発症するため、初期治療には内視鏡的止血操作が必要です。止血後は、できるだけ消炎鎮痛剤の使用量を減らし、抗潰瘍剤が投与されます。



Q.5 それでは、最後にひとことお願いします

A. 5 疑問なことがある方は、当院の消化器内科外来をお気軽に受診して下さい。

医療法人社団 慶友会 糖尿病・生活習慣病センター

第1回 医学講演会のご案内

日時：平成20年4月26日(土) 午後5時より開演

場所：大雪クリスタルホール大会議室〔旭川市神楽3条7丁目〕

患者様はもちろん、ご家族をはじめ糖尿病・生活習慣病に関するお話をお聞きになりたい方ならばどなたでもご参加いただけます。お申し込み不要、入場は無料ですので、当日は直接会場までお越し下さい。

【演題】 演題名『糖尿病・生活習慣病センターについて』

演者 医療法人社団 慶友会 糖尿病・生活習慣病センター

センター長 岩島 保法 先生

【特別講演】 演題名『メタボリックシンドロームと糖尿病』

演者 旭川医科大学 病態代謝内科学分野

教授 羽田 勝計 先生

主催 医療法人社団 慶友会

お問い合わせ：旭川市4条西4丁目 医療法人社団 慶友会 吉田病院 (担当：浅川)

電話番号 (代表) 0166-25-1115



Access 試薬の健康指標値の検出
臨床検査課 課長 北川 昌美
『全自動化学発光酵素免疫測定装置
UniCel DxI 800 LJ46N
2007.12 Vol.58 No.6
▼医学と薬学
▼メディア報告』



一足早い“春”を感じさせる「桃会席」

【栄養課よりお知らせ】
▼「桃会席」の実施について
平成二十年二月二十六日(火)
の昼食にて、立春及び桃の節句をイメージした桃会席が実施されました(小鉢・お造り・焼物・箸休め・蒸物・留榴・甘味の計七品)。
春の彩り映える、旬の食材を活かした斬新な品々が並びました。

▼東芝メディカルシステムズ「The Best Image 2007」開催

8-16列マルチスライスCT部門

【最優秀賞】医療法人社団 慶友会 吉田病院 大橋 芳也



2007年12月15日(土)に六本木アカデミーヒルズ40にて、第15回「The Best Image 2007」が開催されました。

CT部門には211件の応募が集まり、審査は出品者名を伏せたブラインド形式で行われ、表彰式当日に審査発表が行われました。

その中で、当院の放射線科 大橋 芳也技師が8-16列マルチスライスCT部門で最優秀賞を受賞しました。

▼医療と画像の総合情報誌 INNERVISION 2008, 2

『IV Report』コーナーにて詳細掲載

Aquilion 16
最新鋭 TOSHIBA製
16列マルチスライスCT



受賞者の大橋 芳也技師よりコメント

「最先端の医療機器と多大なるご支援に恵まれ、このような光栄な賞を頂くことができました。今後とも微力ですが患者さまのためになる画像を提供していきたいと思っております。」



外来診療担当医師シフト表

		月	火	水	木	金	土
午	内科	武田寛樹 (循環器・内科)	大崎能伸(呼吸器) 旭川医大第一内科	武田寛樹 (循環器・内科)	武田寛樹 (循環器・内科)	豊嶋忠理(呼吸器) 旭川医大第一内科	武田寛樹 /平井克幸
		平井克幸 (血液・内科)	馬場勝義 (一般内科)	平井克幸 (血液・内科)	馬場勝義 (一般内科)	平井克幸 (血液・内科)	馬場勝義 /横田欽一
		横田欽一 (消化器・内科)	横田欽一 (消化器・内科)	横田欽一 (消化器・内科)		旭川医大第一内科 派遣医師(循環器) 横田 欽一	
	外科	工藤浩市	工藤浩市	工藤浩市	工藤浩市	工藤浩市	工藤浩市 隔週
	整形外科	井上謙一	加藤裕幸 慶応義塾大学整形外科	井上謙一	井上謙一	井上謙一	井上謙一 隔週
	糖尿病・生活習慣病 センター	岩島保法	岩島保法	岩島保法	岩島保法	岩島保法	岩島保法 /岡田瑞穂
		岡田瑞穂	岡田瑞穂	岡田瑞穂	岡田瑞穂	岡田瑞穂	
肝臓病センター	長谷部千登美	後藤賢一郎	長谷部千登美	後藤賢一郎	長谷部千登美	長谷部千登美 /後藤賢一郎 /富永吉春	
		紀野修一 旭川医大第二外科	後藤賢一郎	長谷部千登美	後藤賢一郎		
漢方	鈴木まゆみ (呼吸器・内科・漢方) 11:30まで	鈴木まゆみ (呼吸器・内科・漢方)	鈴木まゆみ (呼吸器・内科・漢方)	村主明彦 予約制 鈴木まゆみ	鈴木まゆみ (呼吸器・内科・漢方)		
午後	内科(前半)	横田欽一	岡田瑞穂	横田欽一	岩島保法	武田寛樹	
	内科(後半)	石黒俊哉 (腎臓・内科)	鈴木まゆみ	長谷部千登美 /後藤賢一郎	鈴木まゆみ	鈴木まゆみ	
	その他		【整形外科】 ★加藤裕幸 慶応義塾大学整形外科		【漢方】 村主明彦 予約制 北里研究所 東洋医学総合研究所		【Keiクリニック】 野村 学 月曜日～土曜日

特殊外来等のご案内

- 🎯 眼科 毎週木曜日:旭川医大眼科派遣医師
- 🎯 婦人科外来 毎週木曜日:佐久川 直子
- 🎯 甲状腺外来 毎月第四土曜日:島袋 嘉修

- ※ 各医師の都合により診察日・時間等の変更がある場合がございますので、どうかご了承下さい
(受診の際は事前にお問い合わせ下さい)
- ※ 土曜日の診察医師は交代制となっております
- ※ 出張医・派遣医は青文字で記載しております
- ※ ★ 印の整形外科 加藤医師は16時までの診察となります
- ※ 上記のシフト表は平成20年3月1日現在のものです



医療法人慶友会
吉田病院

内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・外科・整形外科
 歯科・口腔外科・リハビリテーション科・放射線科・眼科
 月・木 8:30~19:00
 火・水・金 8:30~18:00
 土・日 8:30~13:00

旭川市四条西四丁目

TEL (0166) 25-1115

http://www.keiyukai-group.com

